

◎**学校教育目標**：豊かな心を持ち、自ら考え判断し、実践できるたくましい生徒の育成



◎目指す**学校像**：生徒が主体的に学び、達成感・充実感を味わえる学校

◎**生徒会**スローガン：当たり前のことほど真剣に みんなが誇れる長嶺中

### 学校のICT（情報化）への取組

**授業参観への来校ありがとうございます。**

生徒は一人一台端末、教室には電子黒板があり、かつての授業風景とは変化しています。

国の掲げる令和の日本型教育では、一斉授業から「個別最適な学び」「協働的な学び」を進めています。そのためにはタブレット端末活用は必要ですが、以下の課題はあります。

#### ◆教師の課題

- ・操作や指導スキルのアップ・学習規律確保

#### ◆生徒の課題

- ・授業や日常でのマナー・違法サイトの利用
- ・AIの正しい活用・使用時の未充電

#### ◆生徒タブレット【クロームブック】の特徴

- 本体が安い・処理が早い・無料アプリが多い
- セキュリティが強く管理が容易・タッチパネル
- ▼ネットが繋がらないと使えない・ウィンドウズ等のソフトが同じように使えない
- ・技術革新が速く指導力が追いつかない

### 避難訓練：9/11(金)

地震発生後家庭科室から出火という想定で訓練を実施しました。机の下にもぐったり、日頃使用しない中央外階段を使い、**約10分で運動場で出席確認**までできました。訓練を落ち着いた行動に活かしましょう。



### 9月行事

和風月名：長月（ながつき）

19(土)～23(水)シルバーウィーク(連休)

27(日)PTA作業 AM8:30～

### 10月行事

和風月名：神無月（かんなづき）

9(金)1学期終業式

校門前の花はトレニア

15(木)2学期始業式

22(木)生徒会役員選挙

24(土)地区駅伝大会



### 3年金融教育：9/14(月)

3年生へ、マネーリテラシー(お金に関して適切に管理・判断・行動する能力)について各クラスごとに1時間講話をもらいました。

現実味ある分かり易い内容で、生徒はもちろん授業参観で来校した保護者も熱心に耳を傾けていました。講話を活かし心身ともに豊かな人生を送れるよう行動して欲しいです。



### PTA作業への協力

**9月27日（日）8:30**より本校運動場とその周辺を草刈等の環境整備を行います。夏は職員だけでは厳しい所です。お忙しい所ですが、ご協力よろしくお願いします。（雨天時は中止）

### 頑張り屋さん紹介「社会を明るくする運動」

去る7月23日にパレット市民劇場で第76回“社会を明るくする運動”「那覇保護区大会」が開催され本校生徒が発表をしました。**何気ない地域の見守りを振り返り、地域を大切に**  
**する気持ちへ変化**した内容を共有し「笑顔あふれる地域づくり」に今できることに取り組んでいきましょう。（作文は2枚目）



## 「地域に見守られる私」から「地域を大切にする私」へ

長嶺中学校 3年 兼元 夕姫七

みなさんは「社会を明るくする運動」がどういうものなのか考えたことはあるだろうか。正直なところ私は聞いたことさえなかった。学校で先生に「作文を書いてみないか」と言われたが、どんな作文を書いているのかわからないのが本音だった。そこで、どういう取り組みなのか調べてみると、**犯罪や非行を防止し、立ち直りについての理解を深め、明るい地域社会を作ることだと知った**。「社会を明るくする運動」と結びつくことを考えた時、私が通う長嶺中学校は地域の人々にたくさんのサポートをしてもらっていることに気がついた。長嶺中学校には、保護者や地域住民が責任をもって学校運営に参加する仕組みの「**コミュニティスクール**」というものがあり、朝の横断歩道での交通指導、あいさつ運動など私たち生徒の安全を見守ってくれている。そして私たちの中学校の周りには多くの施設がある。私たち中学生が学校外で何か問題を起こした時は先生方と一緒に見守りをしてくれたり、問題が起これそうな時は連絡をし、未然に防ごうとしてくれる地域の方々がたくさんいる。また、生徒会主催の行事では軽食提供をしてくれたり、入学式・卒業式の花の整備なども行ってくれている。しかし私は**三年生にあがるまで歩いている登校はほとんどなく、親の送迎で登下校をしていたので地域の方々と交流が少なく、あまり感謝の気持ちも持っていなかったと感じる**。そんな中、私の気持ちが大きく変わった出来事が二つあった。

**一つ目**は生徒会主催の行事での軽食提供だ。長嶺中学校は若鷹フェスタという舞台祭がある。この**軽食提供**は生徒会が**コミュニティスクール**の方々に直接依頼し実現できた。私たちは軽食提供のことを先生から知らされた時、とても喜び友達と「何があるかな?」「ジュースもあったら嬉しいじゃん?」とテンションがあがりながら話したことを鮮明に覚えている。そしてこの軽食提供が初めての試みだったからこそ、学校中が笑顔になり学校の伝統行事である若鷹フェスタが一層もりあがったと感じた。提供してくれた食べ物は実際に学校の**調理室でコミュニティスクール**の方々が**手作り**してくれたものだった。そのことを後から知った時、学校行事が盛りあがり楽しい思い出になっているのは、先生たちや生徒会、委員会活動をしている生徒たちの頑張りだけではなく、**私たちの見えないところで活動してくれている地域の方々のおかげでもあるんだと改めて実感した**。

**二つ目**は昨年度の卒業式でのことだった。私は卒業式でクラスのプラカードを持って先導する役を務めた。卒業式が終わると卒業生は中庭で写真を撮ったり交流したりする時間が設けられているため、先導役である私は中庭まで卒業生を案内した。

案内し終えた後もその中庭にとどまり部活の先輩と談笑していると、「この花の前で写真を撮ろう」「可愛い花だね」という保護者の声が聞こえてきた。その花とは、「**花友会**」という地域の方々が卒業式に向けて**中庭に設置した記念のフラワーアート**のことだった。保護者の声を聞いた時、「卒業生のために一生懸命作っていた」という地域の方々の思いが卒業生や保護者にしっかりと伝わった気がしてとてもうれしかった。そして、フラワーアートを中心に笑顔の輪が広がっているような気がした。またフラワーアートだけでなく、校内の花だんの花の手入れや苗の入れかえ、かざりつけなど1年中校内が明るくあざやかでいられるよう、私たちが授業をしている中、作業をしているのを見かけた。いつも花で明るい校内が地域の方々によって守られていると気づくことができた。

この二つの出来事で大きく心を動かされた私は、**三年生にあがり、毎日歩いて登校することにした**。通学路で会う地域住民の方々とのあいさつ、横断歩道で交通指導をしてくれている地域の方々とのあいさつ、玄関前にいるコミュニティスクールの方々とのあいさつ。この時間は一日の中での短く、**何気ない時間に感じるが、この時間があることによって、言葉にできないほどのパワー、明るい笑顔が広がっていくと思う**。そして、最初は小さかった私の声を徐々に大きくなり、**今では自分から「おはようございます!」と元気にあいさつをしようと心がけるようになった**。私たちの地域は、地域の方々の支えや協力によってつくられていると思う。だからこそ、今私たちが平和に安全に学校に通うことができ、元気に生活できるのは地域の方々のサポートがあるからだ実感しそのことに感謝しなければならぬと痛感している。地域の方々への感謝の気持ちも痛感した今、私は「社会を明るくする運動」とは何かもう一度考えた。私の出た答えは「社会を明るくする運動」とは、親だけではなく、地域の方々や学校の先生など大勢が協力して子供の教育を見守り、一緒に育てサポートしていくこと。そして、**私たちがしっかりと将来に向かって学習に取り組み、学生としての役割を全うすることではないかと思うことができた**。そうすることで、非行や犯罪のない社会につながっていくのではないだろうか。私は、来年高校生になる。那覇の高校に進学しようと考えているので地域の方々との交流の機械は減ってしまうが、この地域の一員であること自体はかわらない。**これからも地域の事を強く想い、「この地域は明るい」「毎日が楽しい」という声と笑顔であふれた地域をつくることが私の目標になった**。だからこそ私はそんな「明るい社会」になることを願い、今ある地域との関わりや身近に広がる幸せを大切にしていきたい。